

週間漁海況情報—第20号

平成26年5月19日

内容は水産研究課ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suisan/> で公開され、原則として毎週月曜日夜間に更新します。

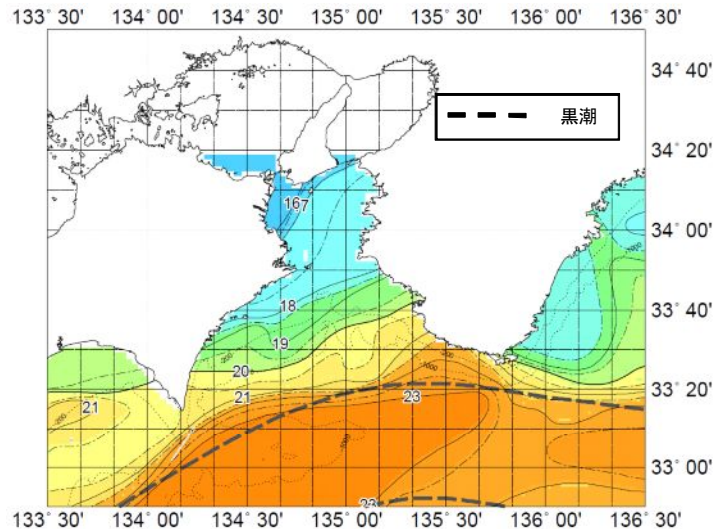
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課

1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H26.5.19）を示した。

黒潮は、室戸岬沖、潮岬沖で接岸している。

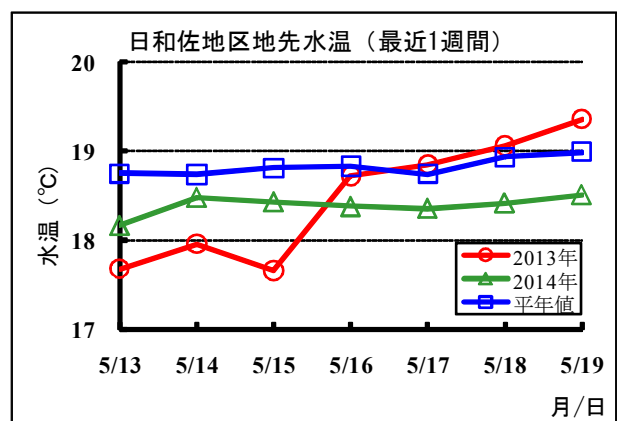
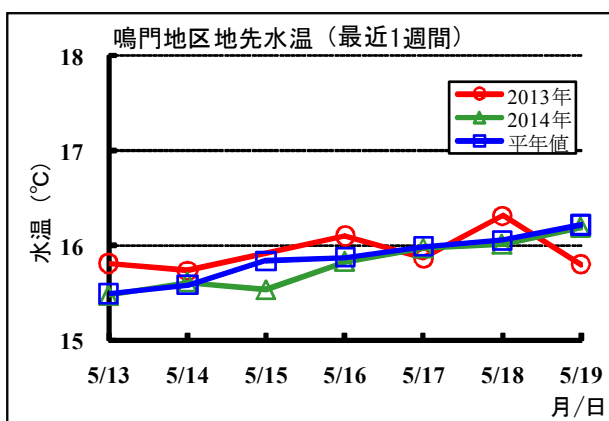
黒潮本流の表面水温は、22～24℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で15℃台、紀伊水道では15～17℃台、海部沿岸は17～19℃台である。紀伊水道には17℃台の内海系水の南下がある。紀伊水道外域への暖水流入は確認できない。



漁業調査船「とくしま」で5月9、13、14日に行った紀伊水道海区の海洋観測では、全層ともに「やや高め」の17.0～17.9℃であった。

紀伊水道海区観測結果

観測日		水 温					塩 分				
		表層	10m	20m	30m	50m	表層	10m	20m	30m	50m
5/9, 13, 14	今年値	17.3	17.0	17.5	17.9	17.5	33.2	33.3	33.7	34.1	34.3
	平年偏差	0.6	0.7	1.0	1.3	1.1	0.5	0.2	0.2	0.4	0.1
	前年偏差	0.0	0.4	0.6	0.5	-0.1	0.2	0.1	0.2	0.1	0.0



地先水温 最近7日間の地先水温は、鳴門地区は「平年並み」の15.5～16.2℃、日和佐地区は「やや低め」～「平年並み」の18.2～18.5℃、牟岐地区は「平年並み」の18.7～19.0℃で推移した。

* 水温偏差の目安

平年並：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上

* 平年値 鳴門地区：1981～2010年の平均値、日和佐地区：1982～2010年の平均値

2. 漁況の経過

小型定置網：海部沿岸でマイワシが3.9トン（1日1隻当たり106kg）、ウルメイワシが2.2トン（同52kg）、カタクチイワシが2.3トン（同76kg）、マメ主体にマアジが0.4トン（同19kg）、小小主体にマサバが9.1トン（同189kg）、キビナゴが0.2トン（同22kg）、ハマチが0.4トン（同24kg）水揚げされた。

大型定置網：海部沿岸で特大・大主体にマアジが4.4トン（同734kg）、小小主体にマルアジが6.1トン（同1,023kg）、小主体にマサバが1.9トン（同320kg）、マルソウダが6.1トン（同1,023kg）、メジロが1.2トン（同195kg）、ブリが0.4トン（同69kg）、小主体にシイラが0.7トン（同109kg）、平均重量50kgのクロマグロが1.7トン（同284kg）、大・中主体にアオリイカが0.3トン（同46kg）、中・小主体にカワハギが0.3トン（同52kg）水揚げされた。

釣り：紀伊水道で特大主体にタチウオが0.3トン（同10kg）水揚げされた。

パッチ網：紀伊水道でシラスが23.3トン（同750kg）水揚げされた。

漁業種別集計表（抜粋） 2014年5月12日～2014年5月18日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
小型定置網	海部沿岸	マイワシ	37	3,936	106	
		ウルメイワシ	43	2,241	52	
		カタクチイワシ	30	2,288	76	
		マアジ	21	396	19	マメ主体
		マサバ	48	9,081	189	小小主体
		キビナゴ	11	237	22	
		ハマチ	16	385	24	
大型定置網		マアジ	6	4,404	734	特大・大主体
		マルアジ	6	6,135	1,023	小小主体
		マサバ	6	1,921	320	小主体
		マルソウダ	6	6,136	1,023	
		メジロ	6	1,172	195	
		ブリ	6	411	69	
		シイラ	6	655	109	小主体
	クロマグロ	6	1,705	284	平均重量50kg	
釣り	紀伊水道	タチウオ	33	315	10	特大主体
パッチ網		シラス	31	23,250	750	

週間予報：黒潮は、室戸岬沖及び潮岬沖において「やや離岸」から「接岸」で推移する見込み。地先水温は、鳴門地先で「平年並」の16～17℃台、日和佐地先で「やや低め」～「平年並」の18～19℃台で推移する見込み。